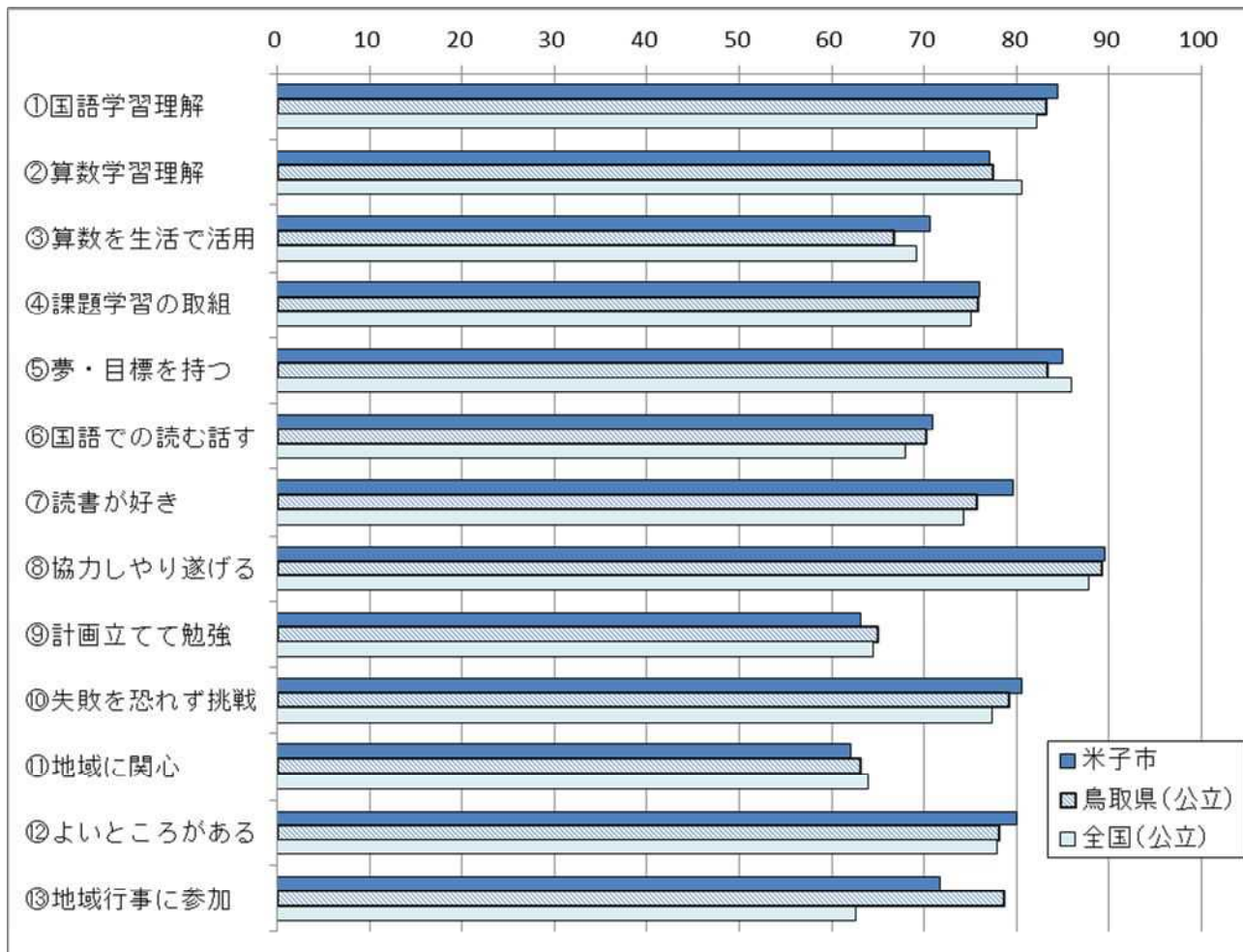


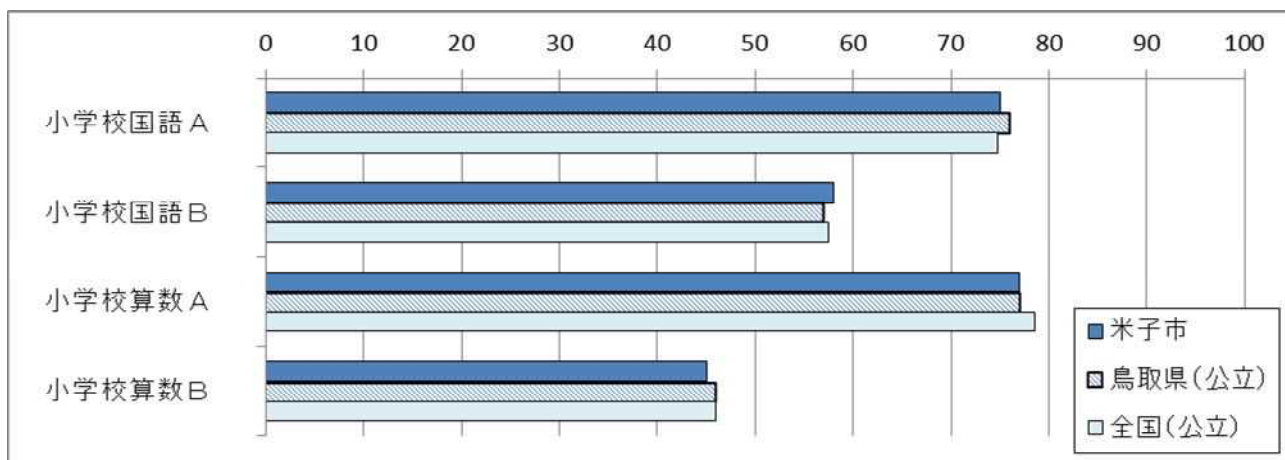
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



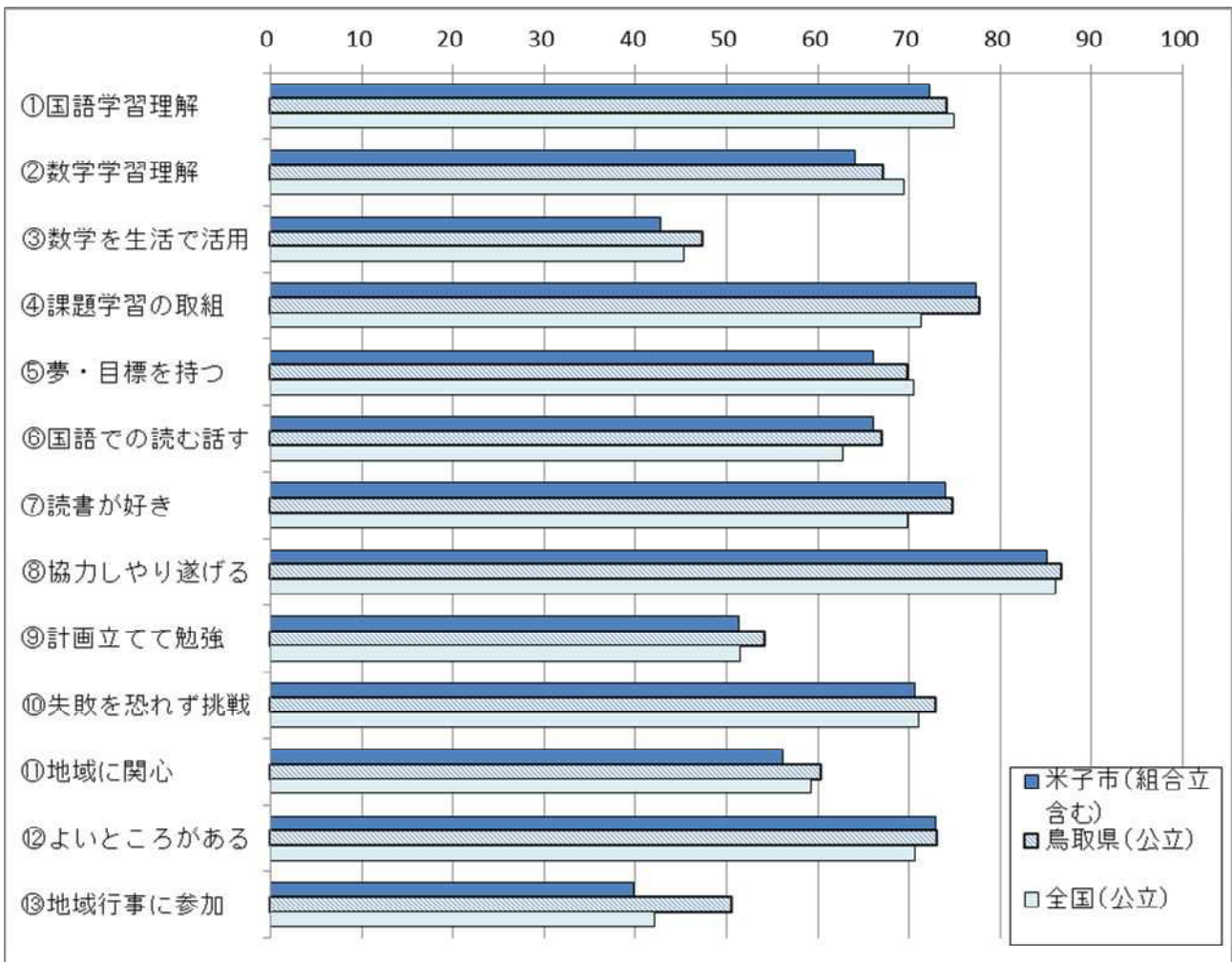
■教科に関する調査



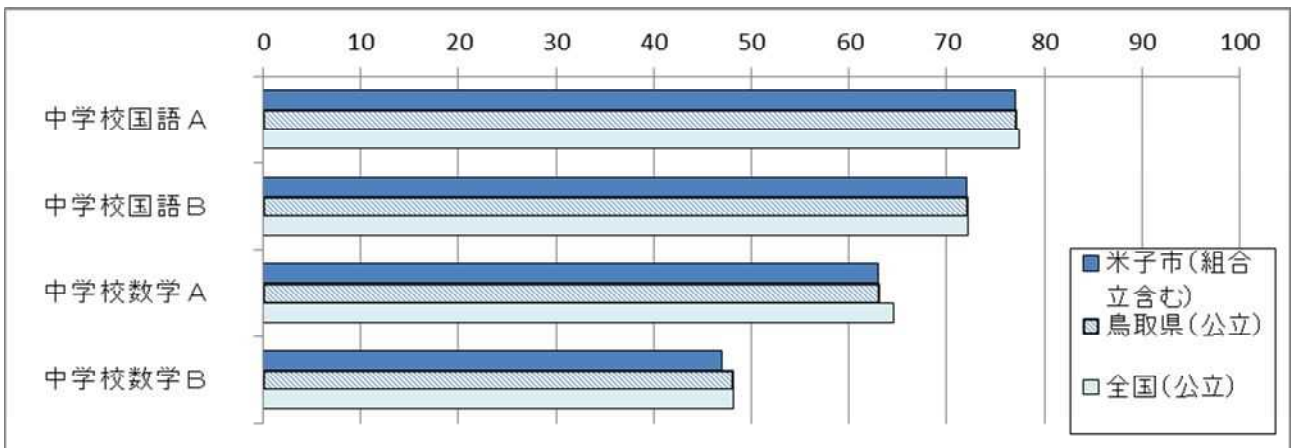
◇質問紙調査で「算数の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が、全国に比べ低く、教科に関する調査でも算数Aで、全国平均正答率を下回ったことから、知識・技能の確実な定着に向けた算数の授業改善が必要である。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

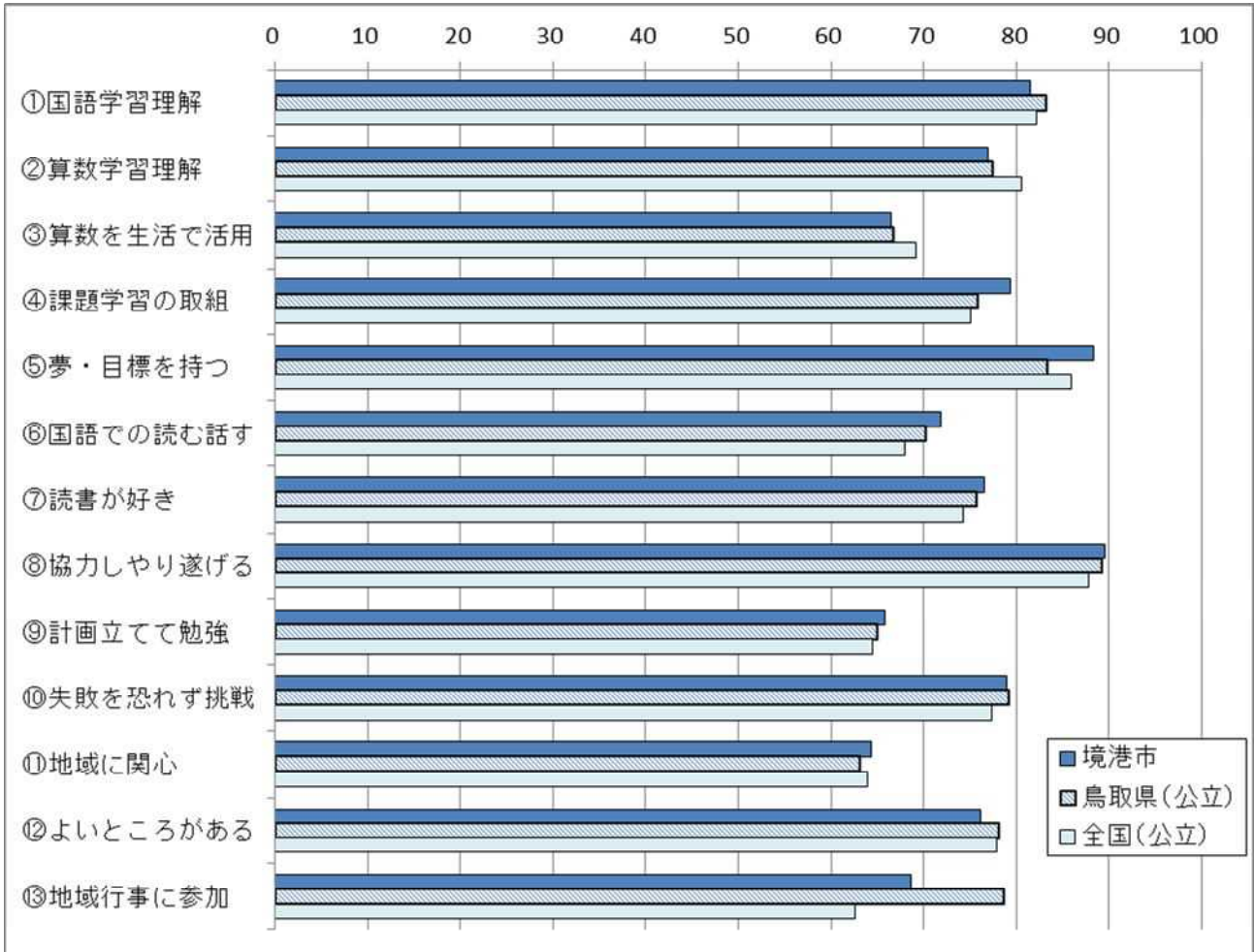


◇国語、数学ともに「授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国に比べ低い。特に教科に関する調査で、全国平均正答率を下回った数学（A問題）は、知識・技能の定着に向けた授業改善を進める必要がある。

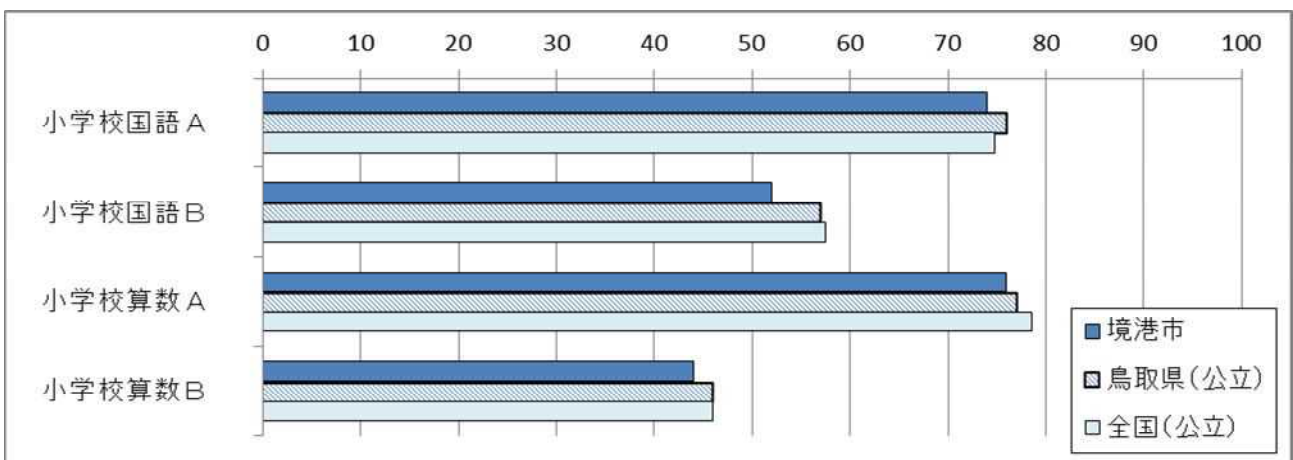
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



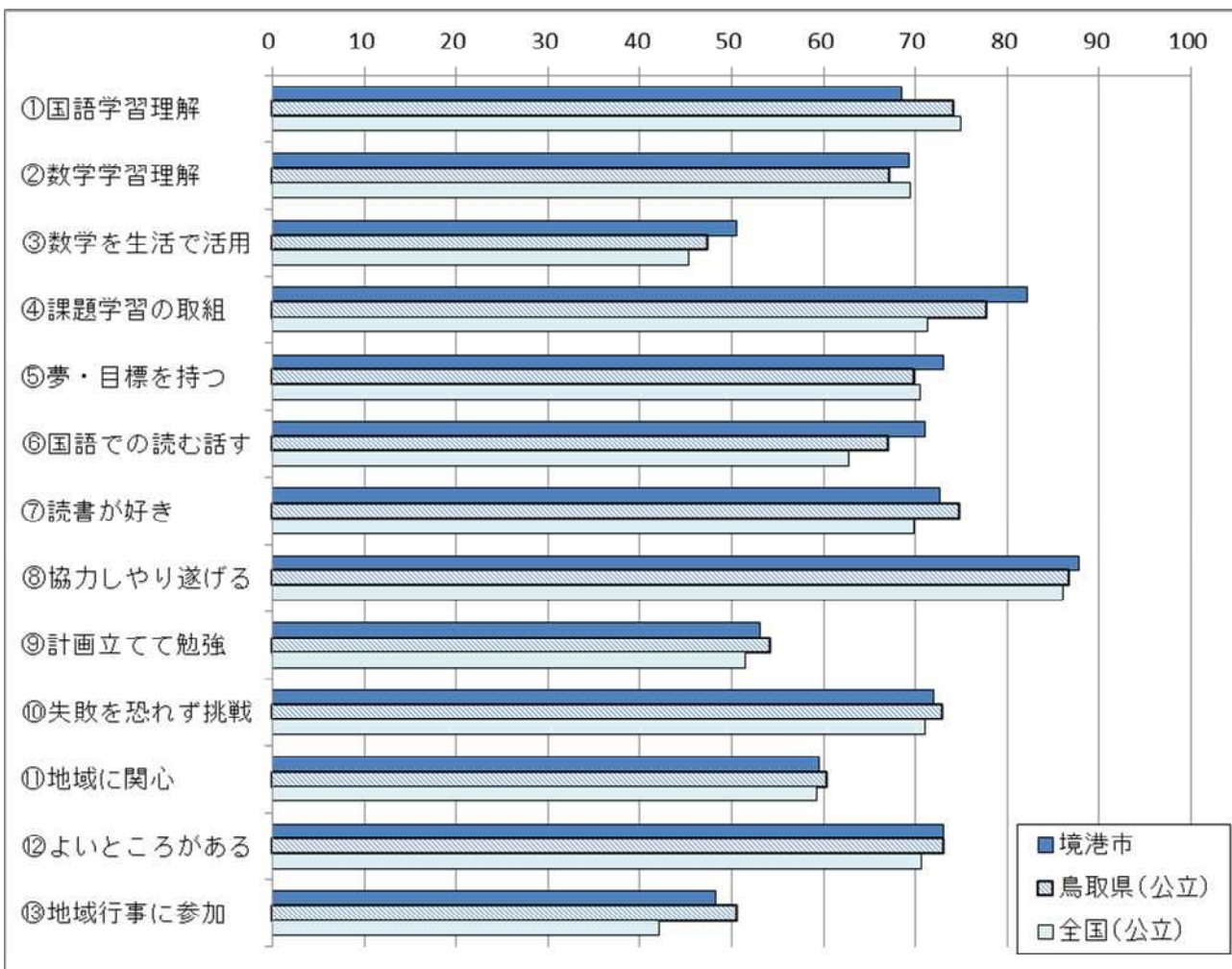
■教科に関する調査



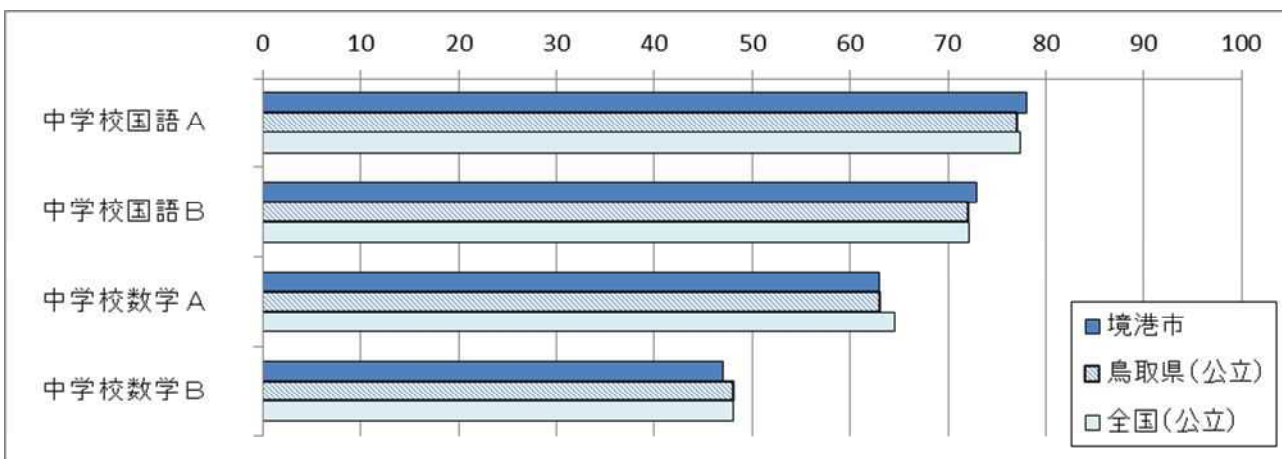
- ◇「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合は、全国に比べ高いが、教科に関する調査で国語Bは全国平均正答率を下回っており、活用することに課題が見られた。
- ◇「算数の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合は、全国に比べ低く、算数A、Bともに全国平均正答率を下回っていることから、算数における知識・技能の定着に向けた授業改善が必要である。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査



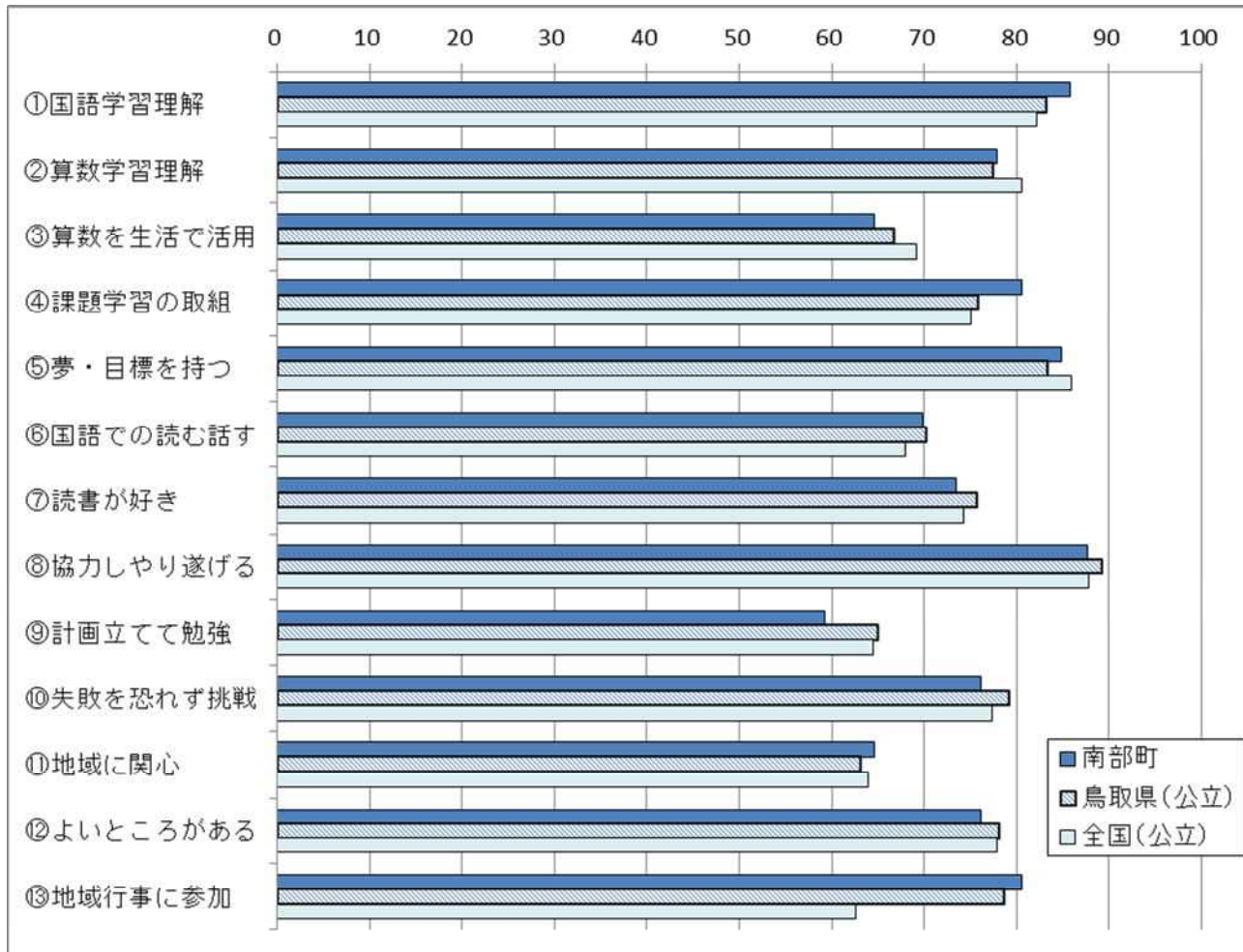
◇質問紙調査で「授業の内容がよく分かる」で望ましい回答をした生徒の割合は、国語で全国よりも低く、数学は全国と同程度であるが、教科に関する調査では、国語はA、B問題ともに全国平均正答率と差がなく、数学はA、B問題ともに全国平均正答率を下回った。質問紙への回答状況と教科調査の結果に差が見られた。

◇「自分たちで課題を立てて、話し合う等の活動に取り組んだ」と回答した生徒の割合が高く、協働的な学びが進んでいると考えられる。

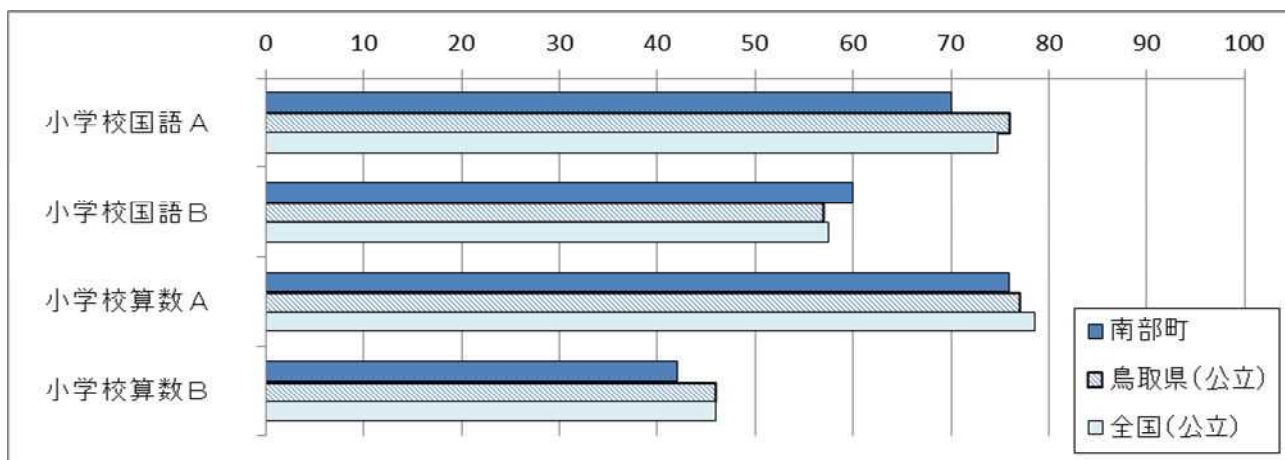
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

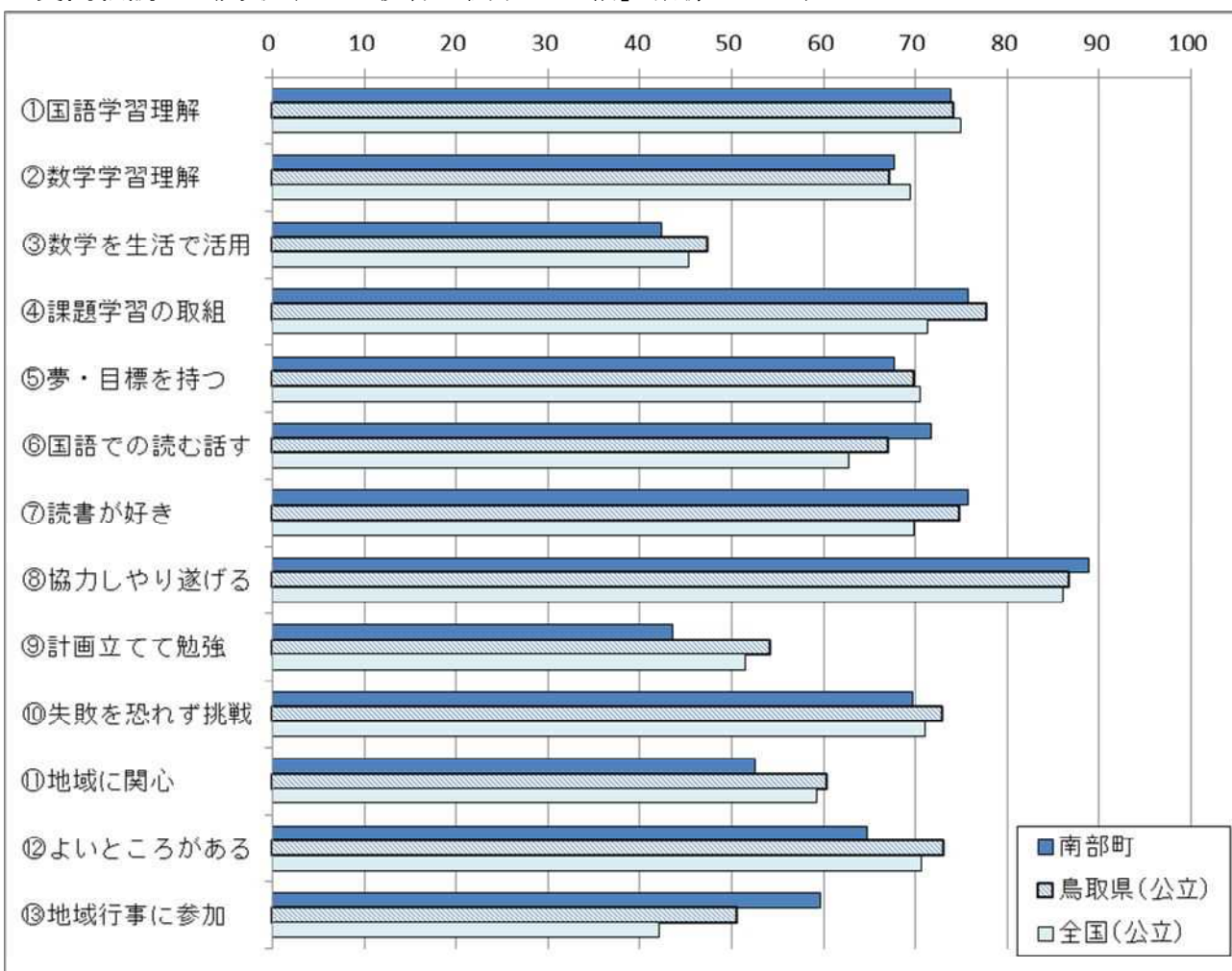


◇「国語の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合は、全国に比べ高く、教科に関する調査で国語Bが全国平均正答率を上回ったが、国語Aで全国平均正答率を下回っており、知識・技能の定着に課題が見られた。

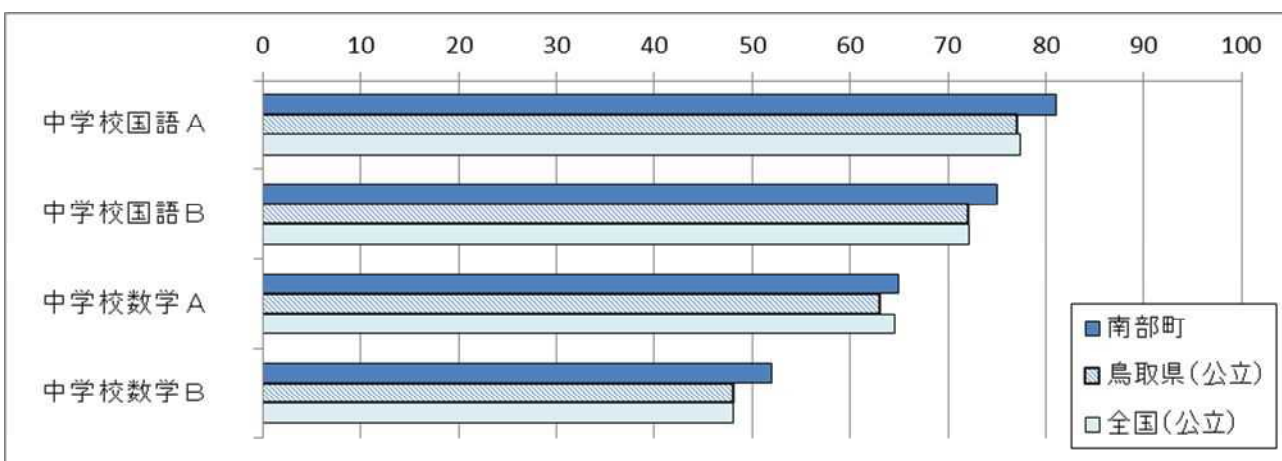
◇算数はA、B問題両方で、全国平均正答率を下回っており、「算数の授業の内容がよく分かる」「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合が全国に比べ低いことから、算数の授業改善が必要である。「自分で計画を立てて勉強している」児童の割合も低いことから、家庭学習の充実に向けた取組も必要である。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

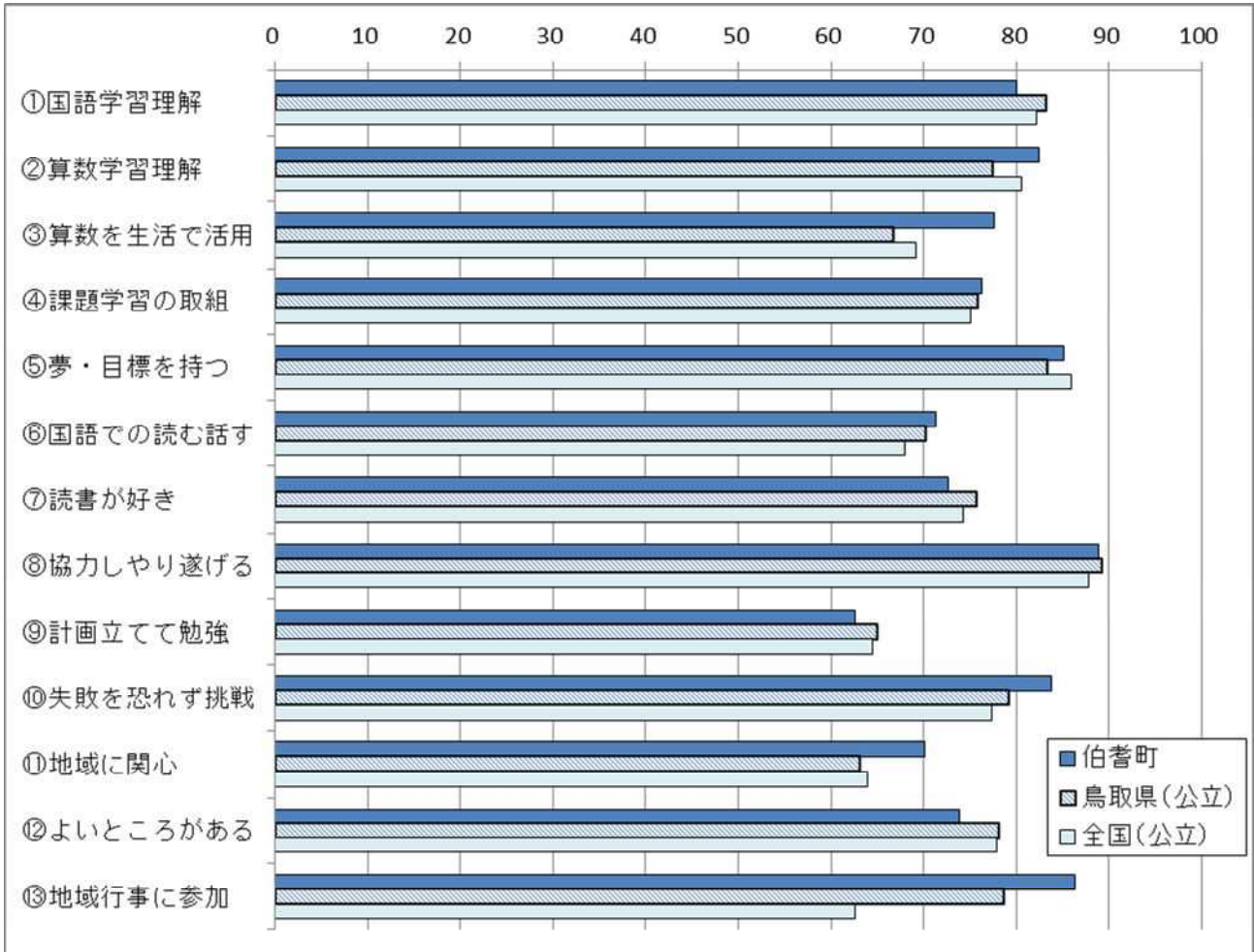


- ◇「自分で計画を立てて勉強している」と回答した生徒の割合が、全国よりも低く、家庭学習の充実に向けた取組が求められる。
- ◇国語、数学ともに「授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合は、全国よりもやや低いが、教科に関する調査では国語A、B問題、数学B問題で全国平均正答率を上回っており、知識・技能の定着とともに活用する力についても育成が図られている。

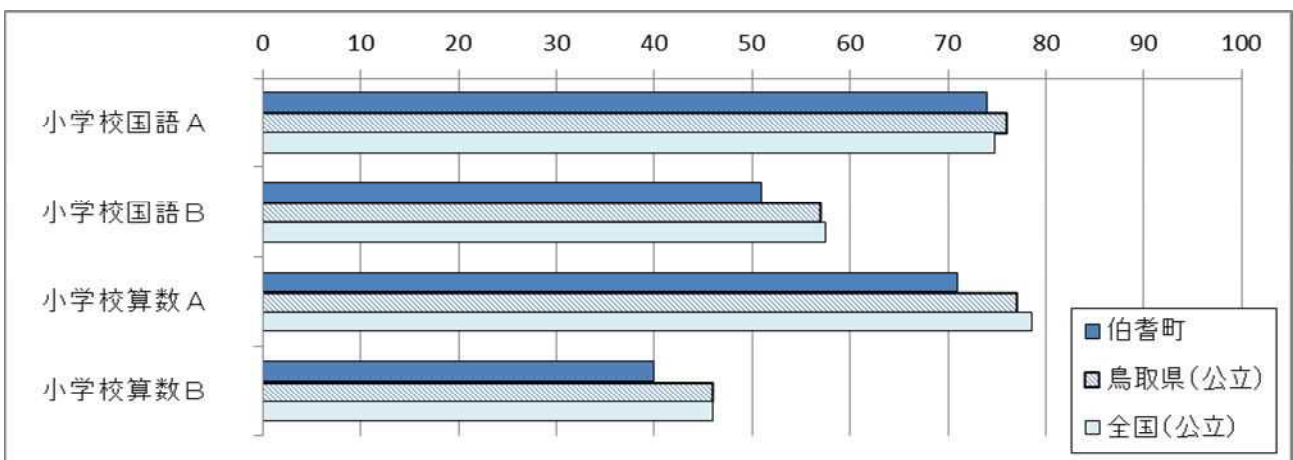
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



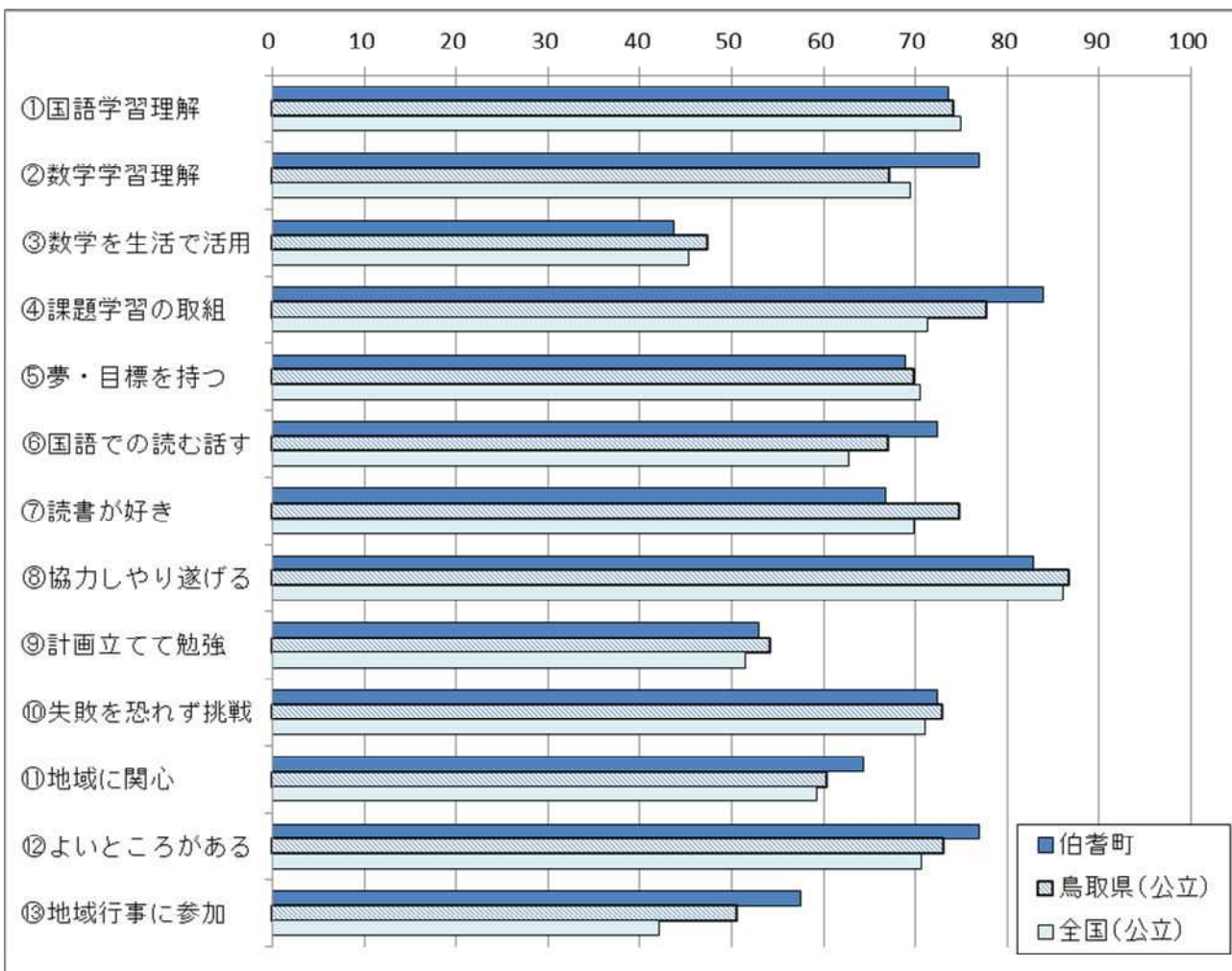
■教科に関する調査



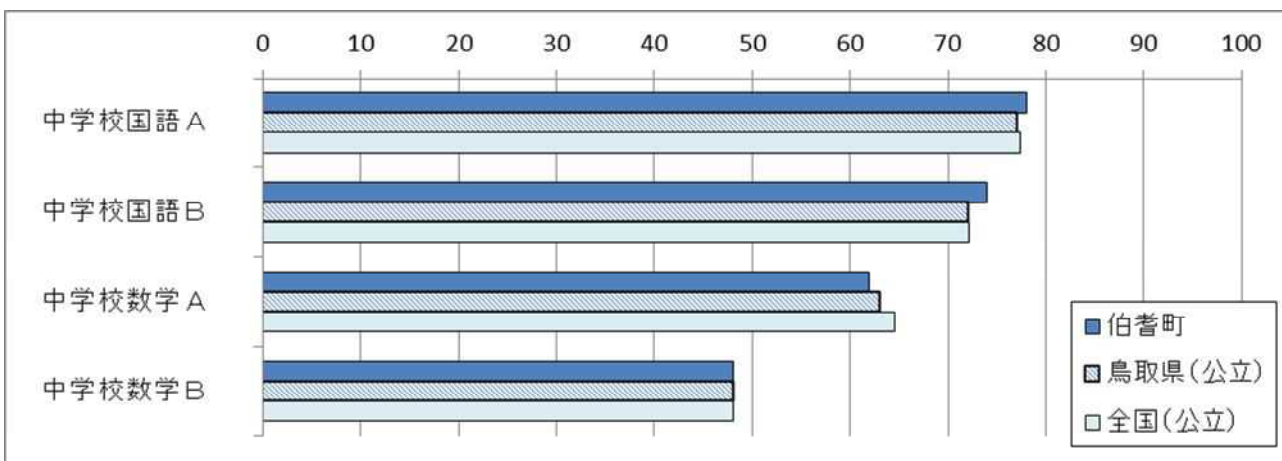
- ◇「国語の授業の内容がよく分かる」児童の割合が、全国に比べやや低く、国語Bで全国平均正答率を下回っており、国語の活用に課題が見られた。
- ◇「算数の授業の内容がよく分かる」「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合は、全国に比べ高いが、算数A、B両方で全国平均正答率を下回っており、児童の質問紙の回答と教科調査結果とに差が見られた。
- ◇「地域に関心がある」「地域の行事に参加している」児童の割合が、全国に比べ高く、地域との結びつきが強いと考えられる。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査



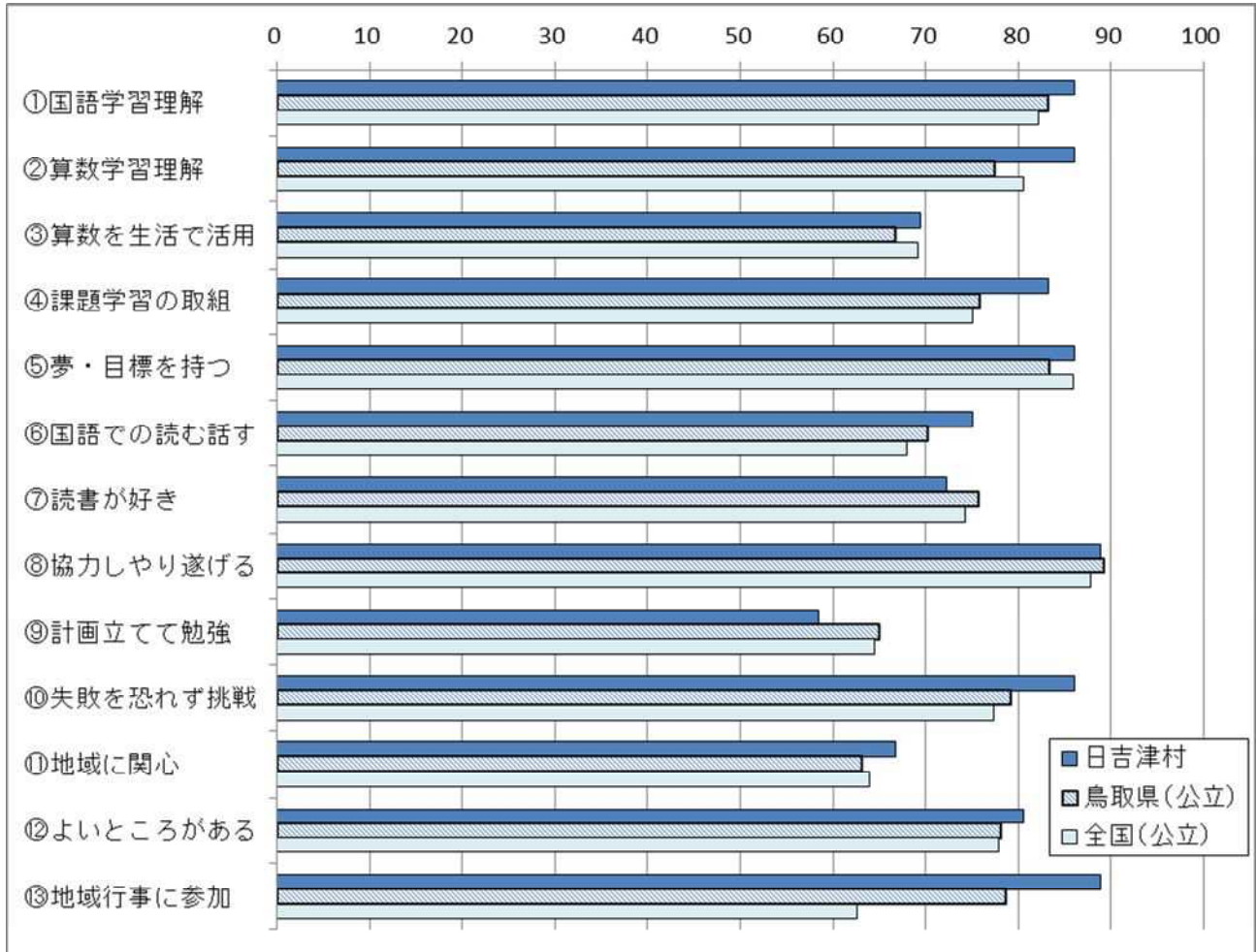
◇小学校と同様、「地域に関心がある」「地域の行事に参加している」生徒の割合が、全国に比べ高く、地域との結びつきが強いと考えられる。  
 ◇教科に関する調査では、国語Bで全国平均正答率を上回り、数学Aで全国平均正答率を下回った。「数学の授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合は高いが、知識・技能の確実な定着について課題が見られた。



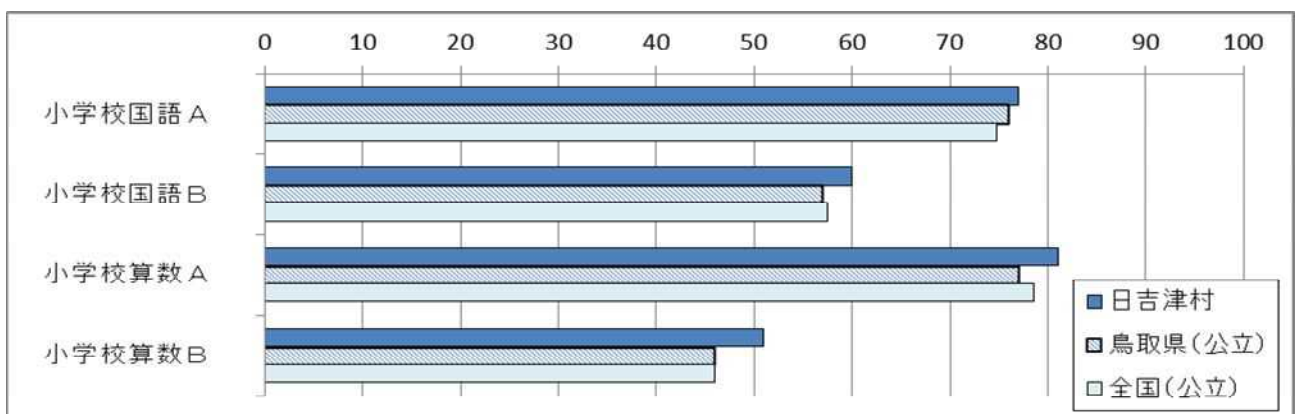
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査



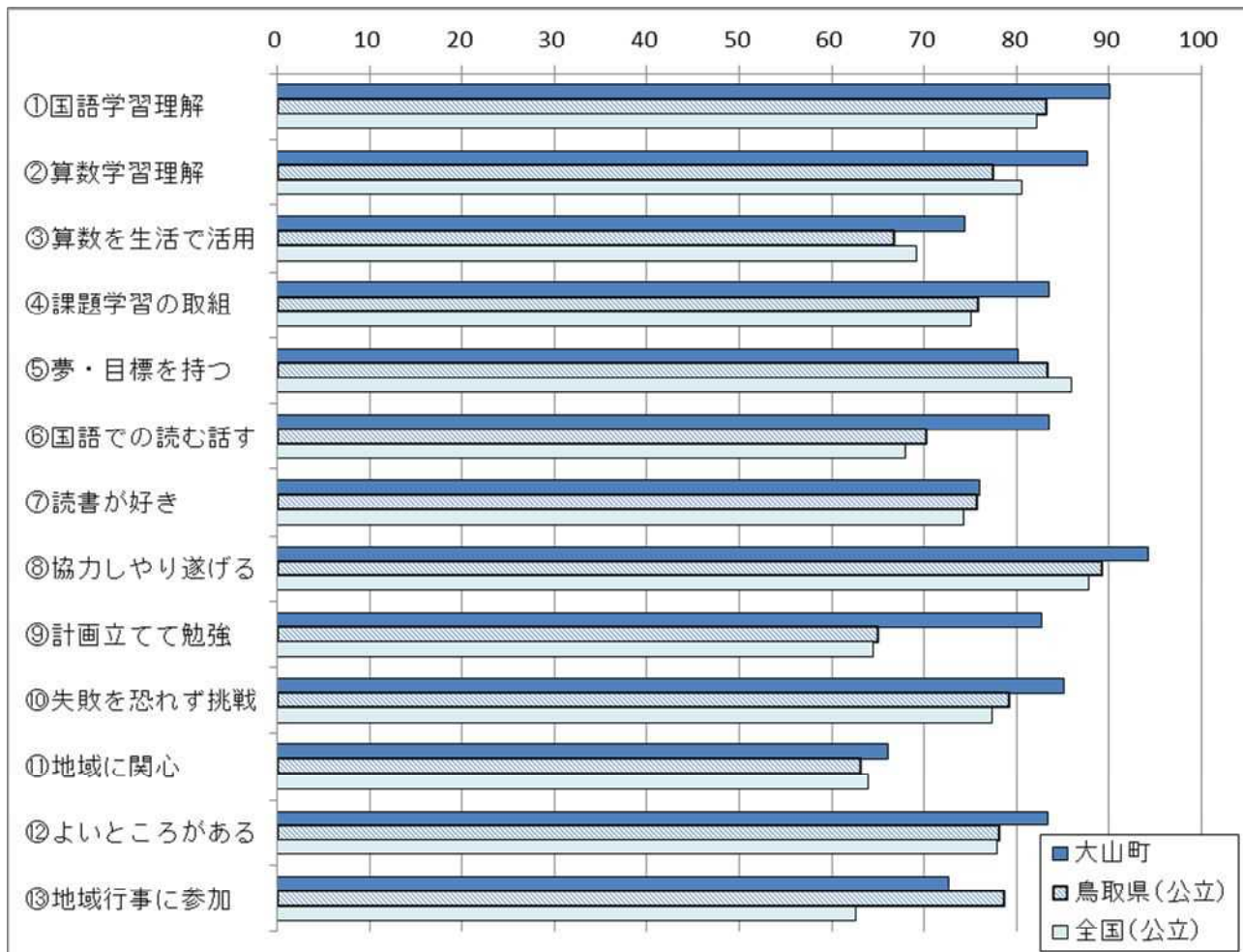
◇「授業の内容がよく分かる」等、国語、算数に関する質問紙調査の望ましい回答の割合が、全国に比べ高く、教科に関する調査における国語、算数のA、B問題すべてで全国平均正答率を上回っていることから、知識、技能の定着が図られ、思考力、判断力等も向上していると考えられる。  
 ◇「自分で計画を立てて勉強している」児童の割合が、全国に比べ低いことから、家庭学習の充実に向けた取組がなされることで、さらに力を伸ばすことができると考えられる。



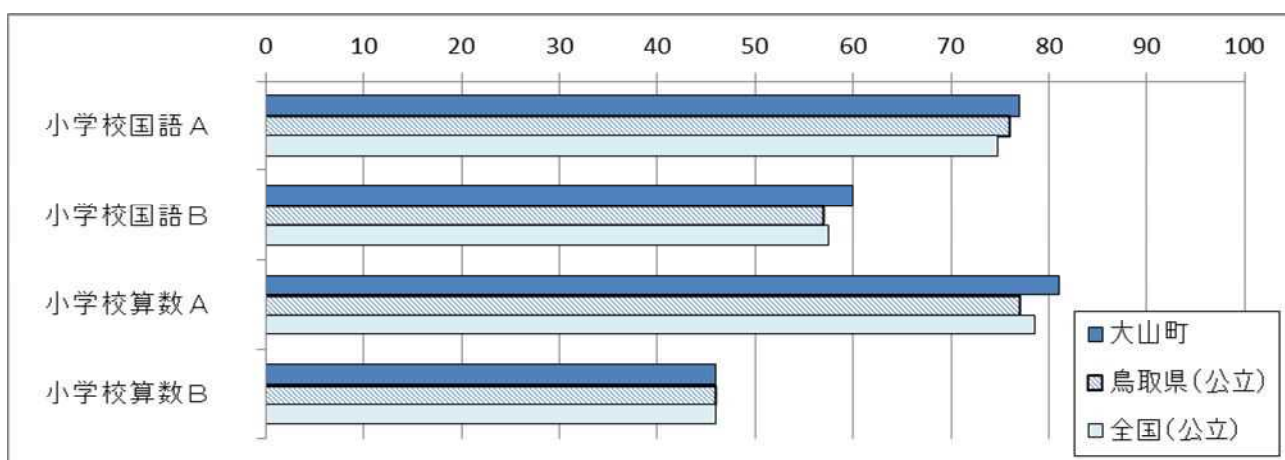
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



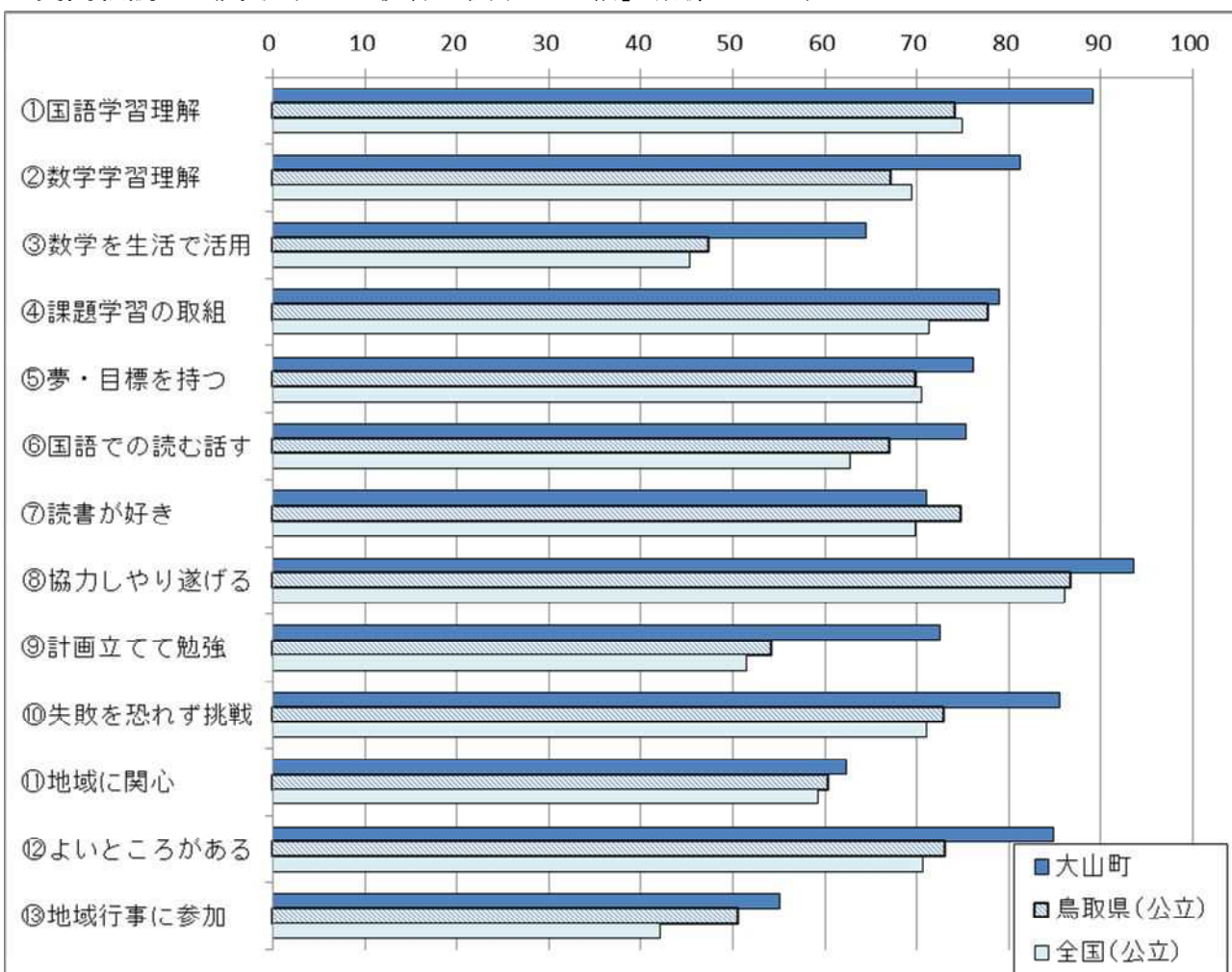
■教科に関する調査



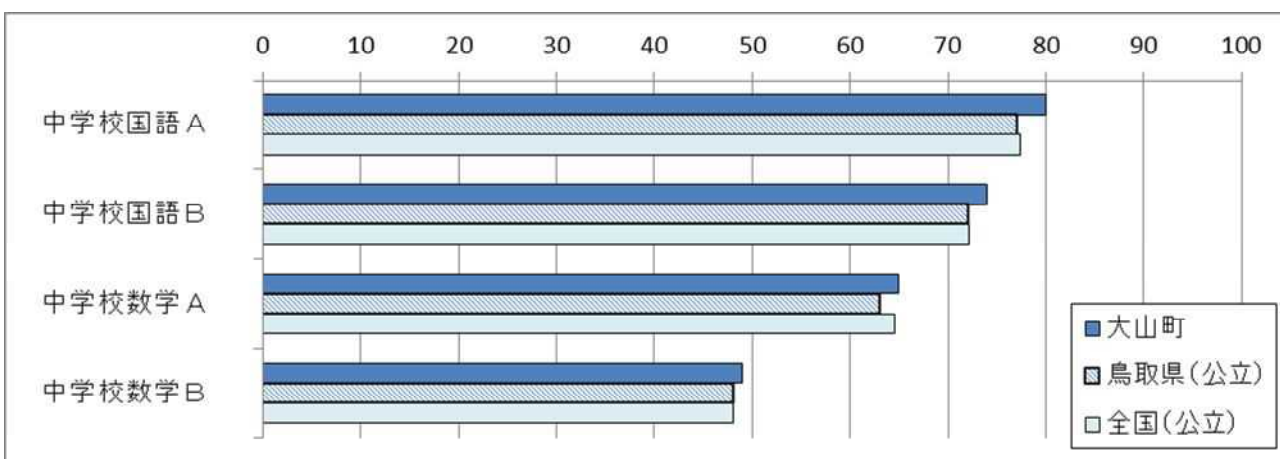
- ◇質問紙調査では、「夢や目標を持っている」を除く12項目で、望ましい回答をした児童の割合が、全国よりも高く、教科に関する調査でも、国語A、B、算数Aで全国平均正答率を上回っており、質問紙、教科調査ともに良好な傾向にあることが伺える。
- ◇「授業の内容がよく分かる」「自分で計画を立てて勉強している」児童の割合が高く、授業で理解したことを家庭学習で自主的に復習する等の取組が進んでいると考えられる。

## <中学校>

### ■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



### ■教科に関する調査

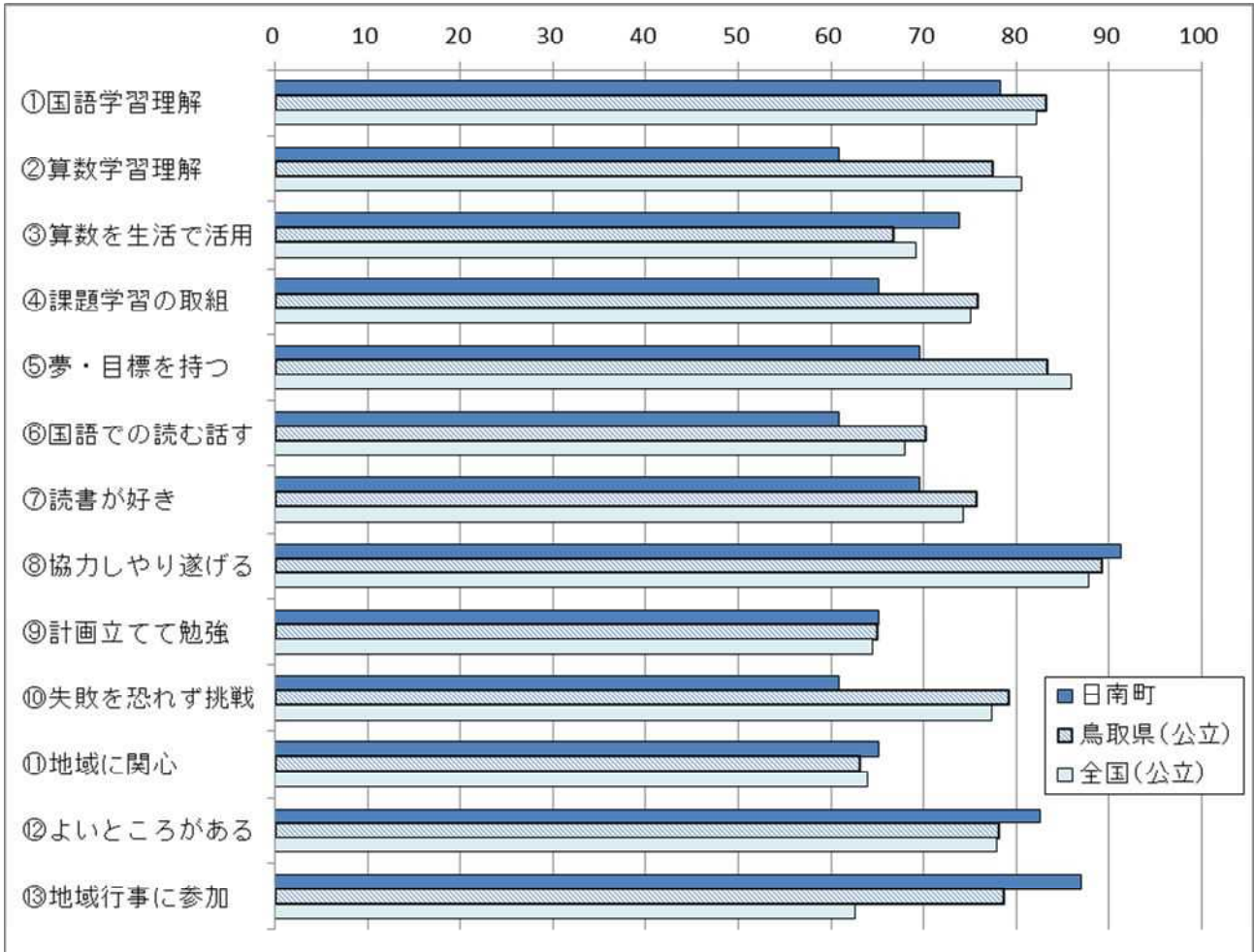


- ◇質問紙調査では、13項目すべてで望ましい回答をした生徒の割合が、全国よりも高く、小学校同様、学校生活に満足している生徒が多いことが伺える。
- ◇教科に関する調査でも、国語A、B、数学A、Bともに全国平均正答率を上回っており、質問紙の状況からも特に国語の学習について良好な傾向にあることが伺える。
- ◇「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合が高く、小学校から引き続いて、授業で理解したことを家庭学習で自主的に復習する等の取組が進んでいると考えられる。

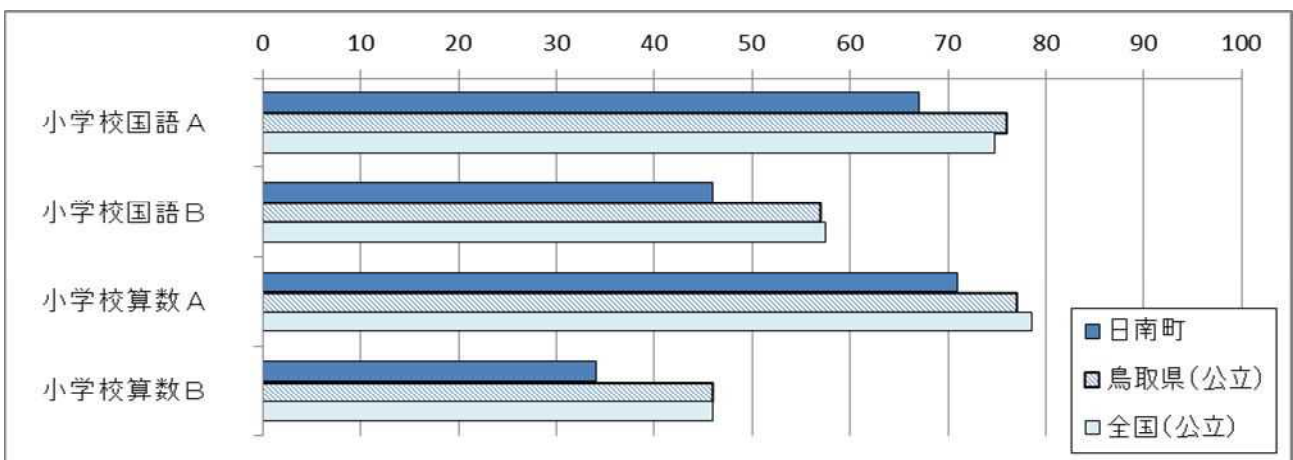
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



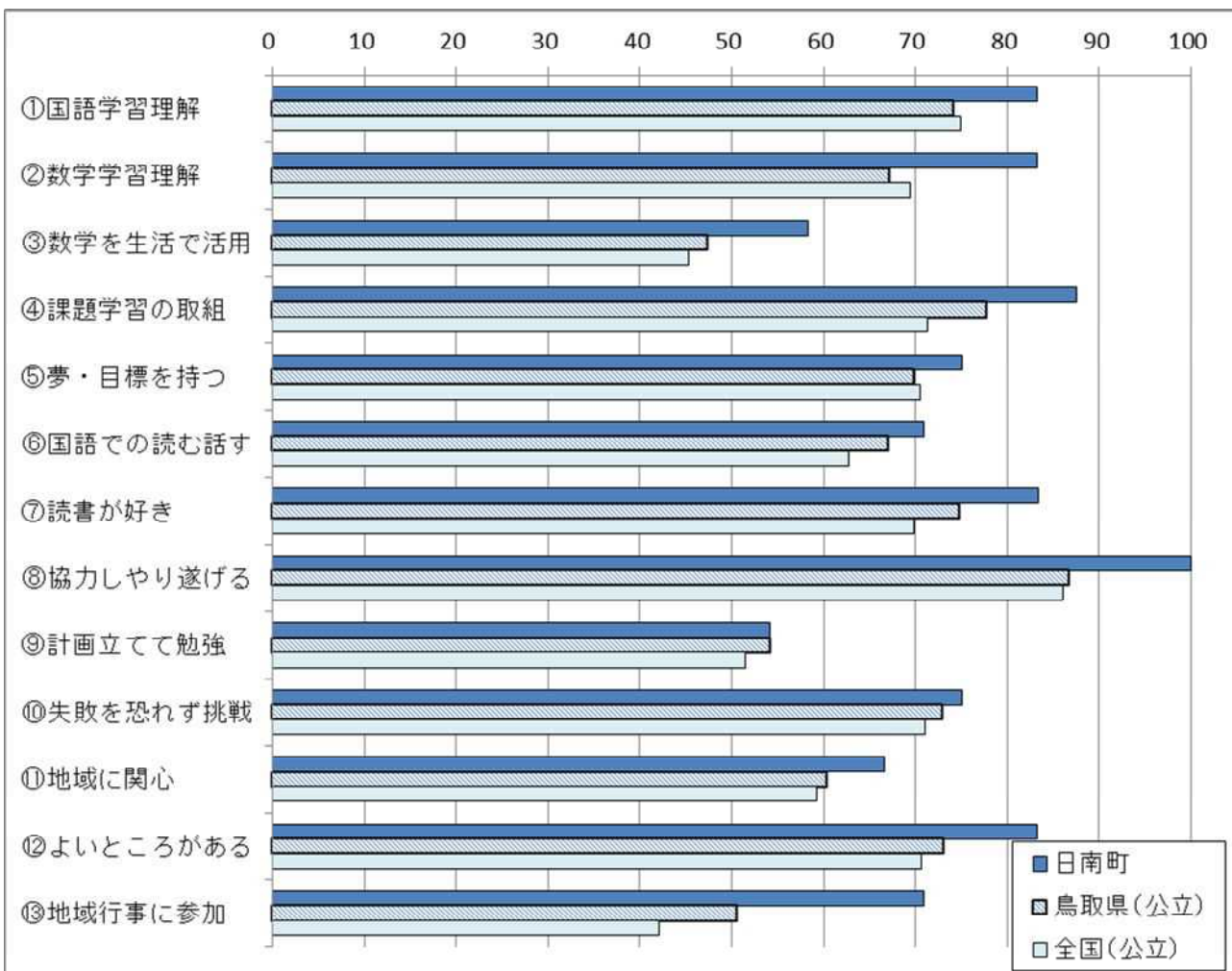
■教科に関する調査



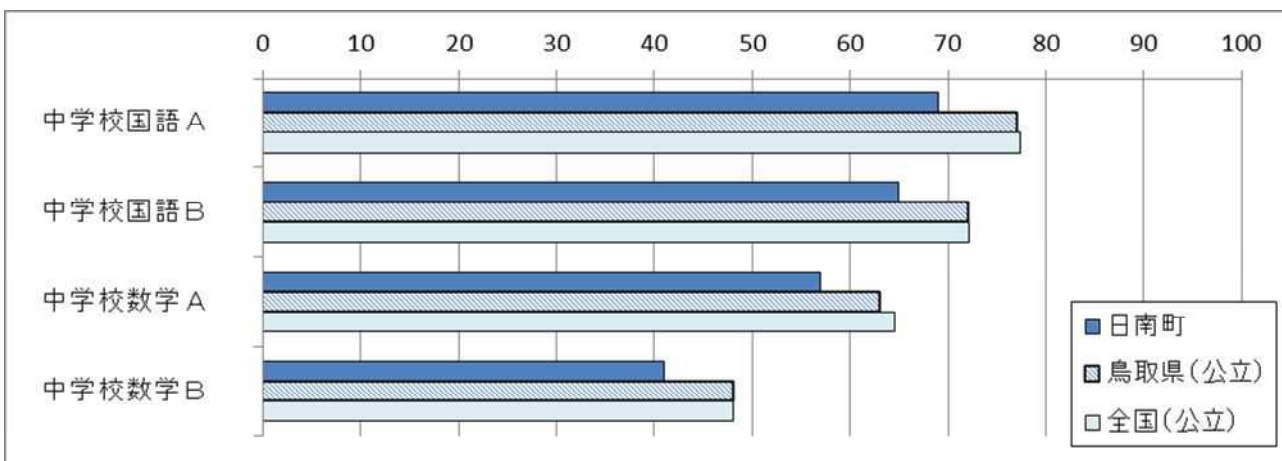
◇国語、算数ともに「授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が、全国に比べ低く、教科に関する調査においても国語、算数のA、B問題すべてで全国平均正答率を下回っており、知識、技能の確実な定着に向けて授業改善が必要である。  
 ◇「夢や目標を持っている」児童の割合も低く、夢や目標を持ってないことが学習への取組に影響していることも考えられる。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

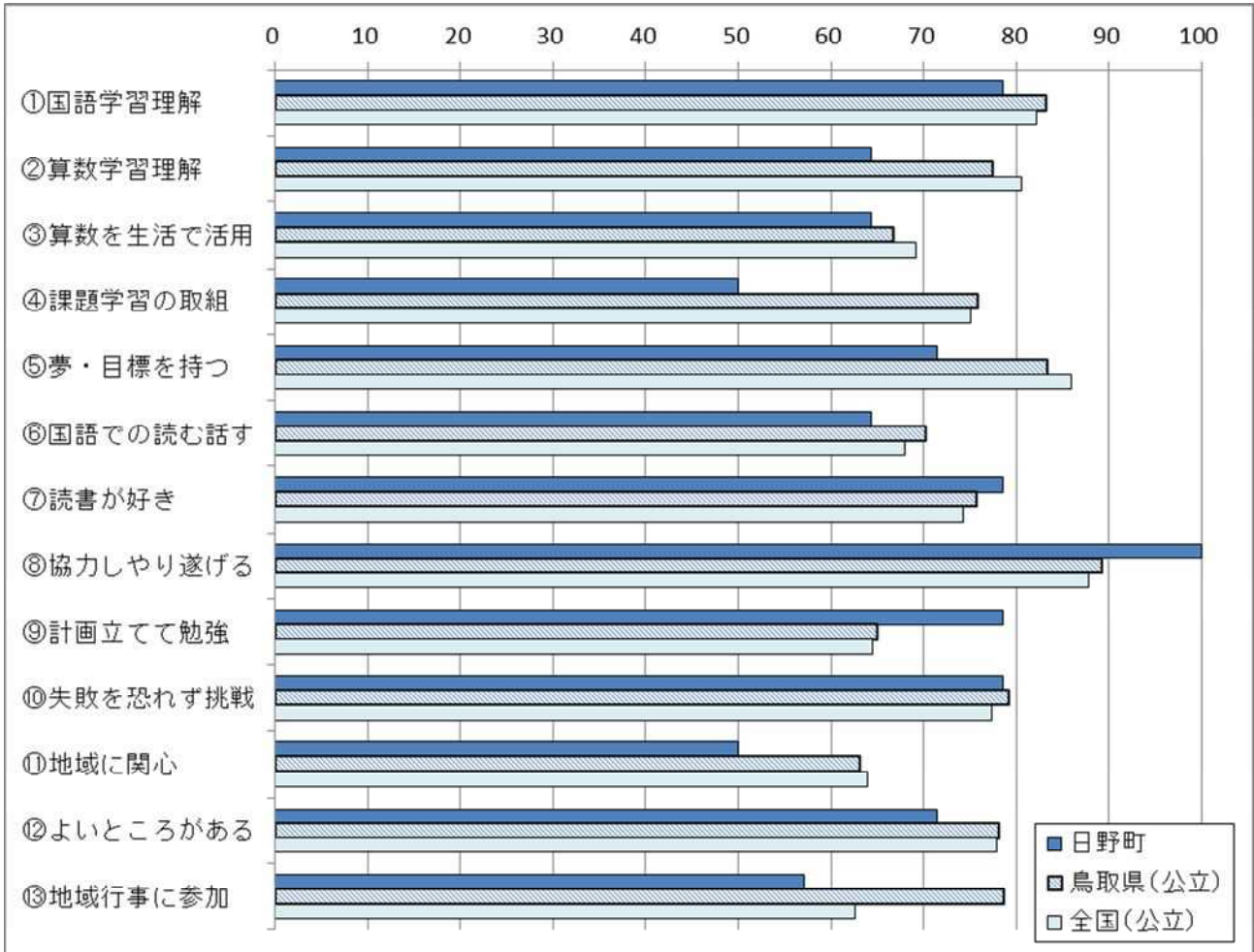


◇質問紙調査では、13項目すべてで望ましい回答をした生徒の割合が、全国よりも高く、学校生活に満足している生徒が多いことが伺えるが、教科に関する調査では、国語、数学のA、B問題すべてで全国平均正答率を下回っており、知識・技能の定着や活用する力の育成に向けた授業改善が必要である。

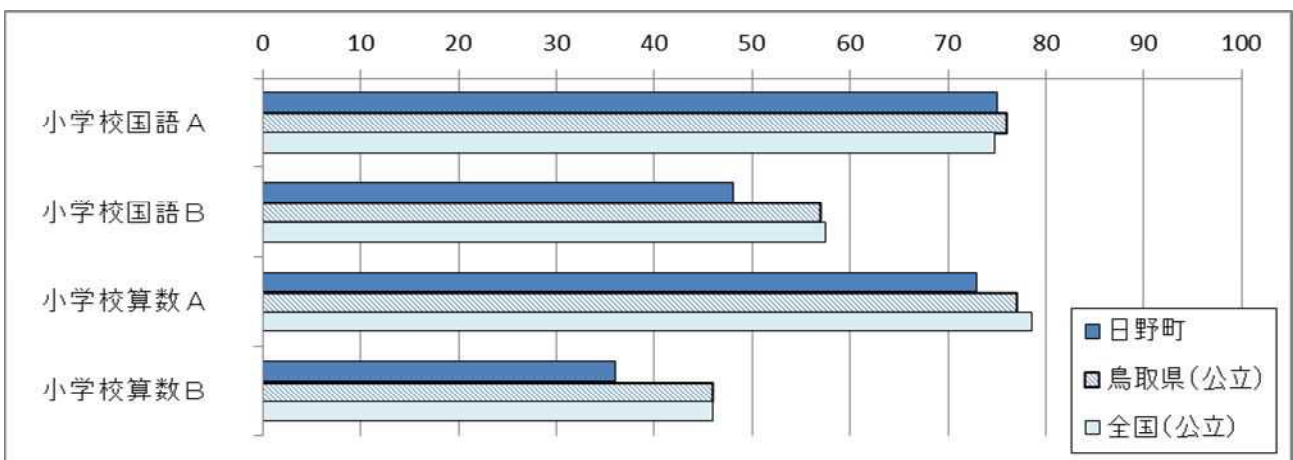
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

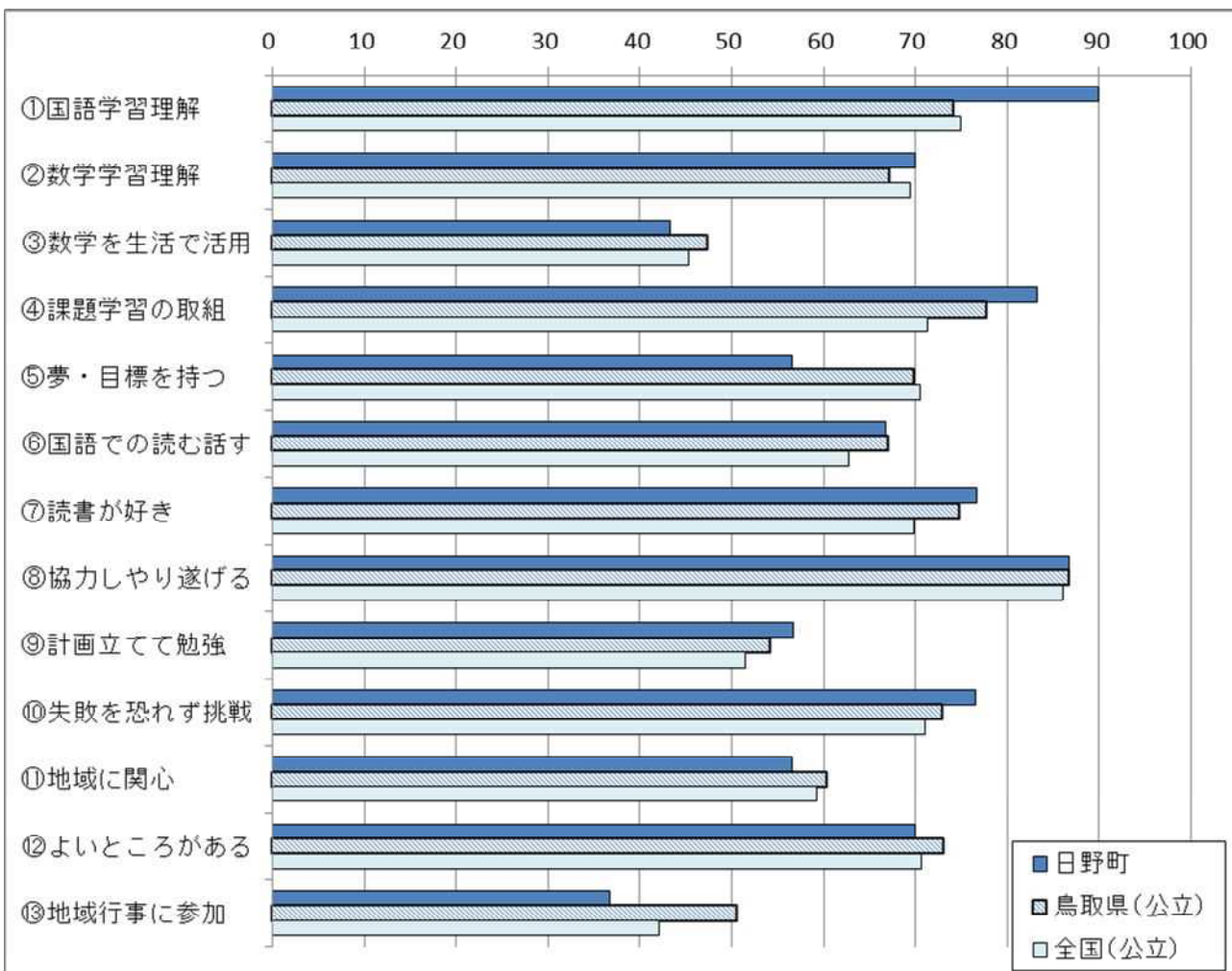


◇「授業の内容がよく分かる」等、教科に関連した項目での肯定的な回答の割合が、特に算数に関連する内容で低くなっている。教科に関する調査では、国語、算数とも特にB問題で全国平均正答率との差が大きく、活用に課題がある。

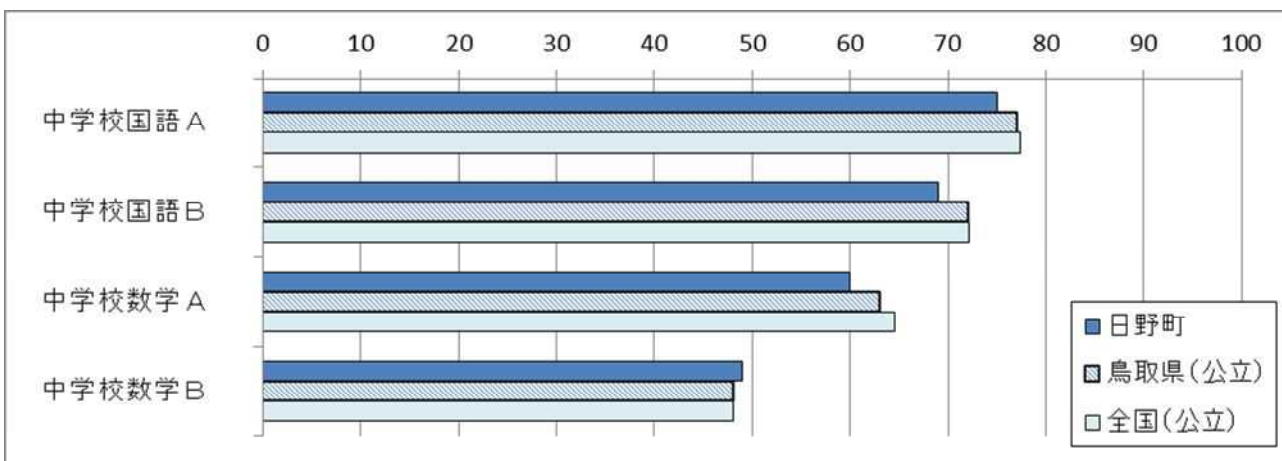
◇協力してやり遂げていると回答した児童の割合が100%であり、友達と協力して最後までやろうとする意識が高いことが伺える。一方で、地域との関係に関する質問項目での肯定的な意見の割合が低い。今後は、地域とのつながりを意識した教育活動の充実が求められる。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査



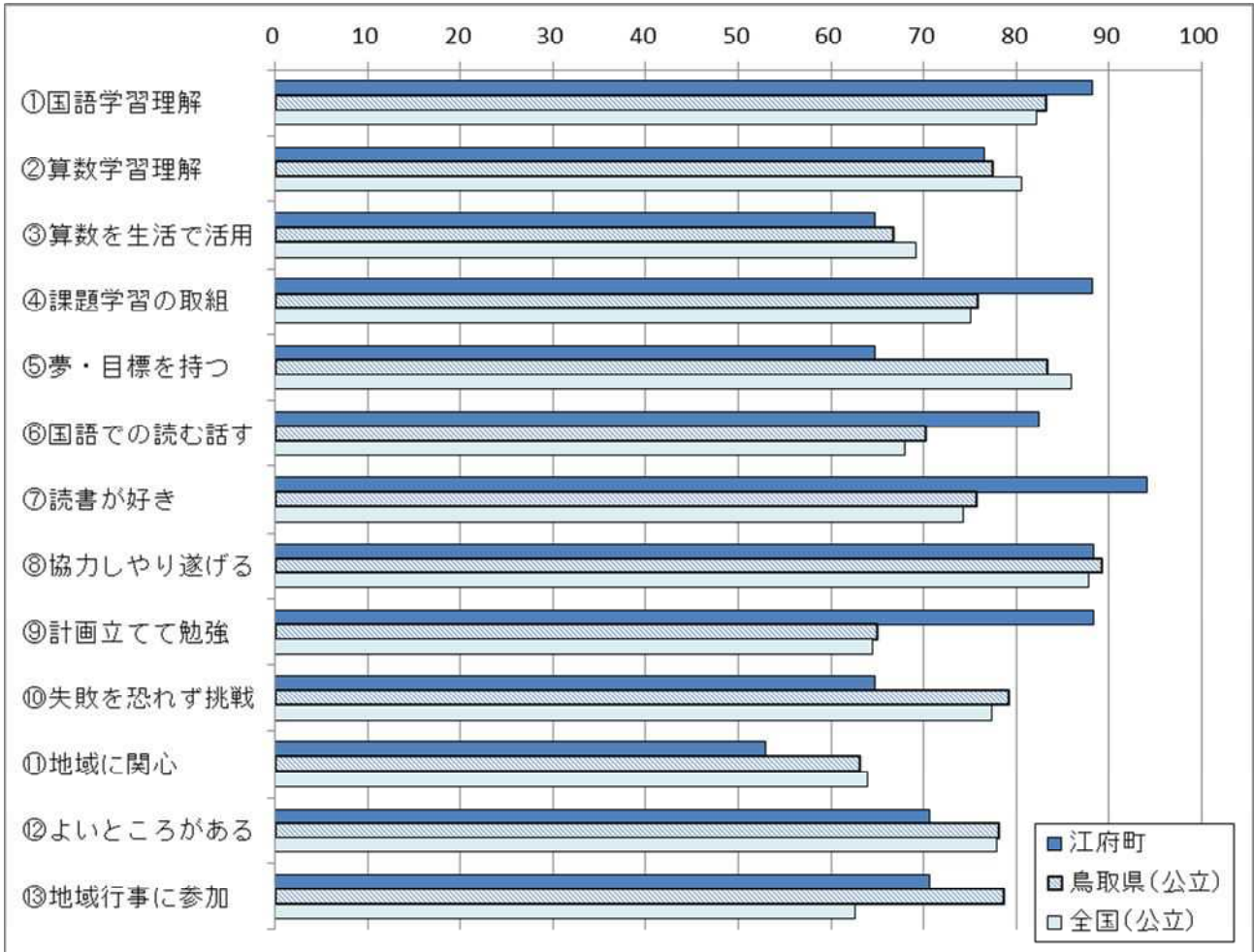
- ◇国語A、B問題、数学A問題で全国平均正答率を下回ってはいるものの、「授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合は高く、授業改善が図られ、生徒の学力も伸びつつある。
- ◇「夢や目標を持っている」「地域の行事に参加している」生徒の割合が、全国に比べ低い。学校では、地域で活躍している人の話を聞いたり、地域に出かけてのボランティア活動に取り組んだりしており、今後は、家庭、地域を巻き込んだ取組の充実が求められる。



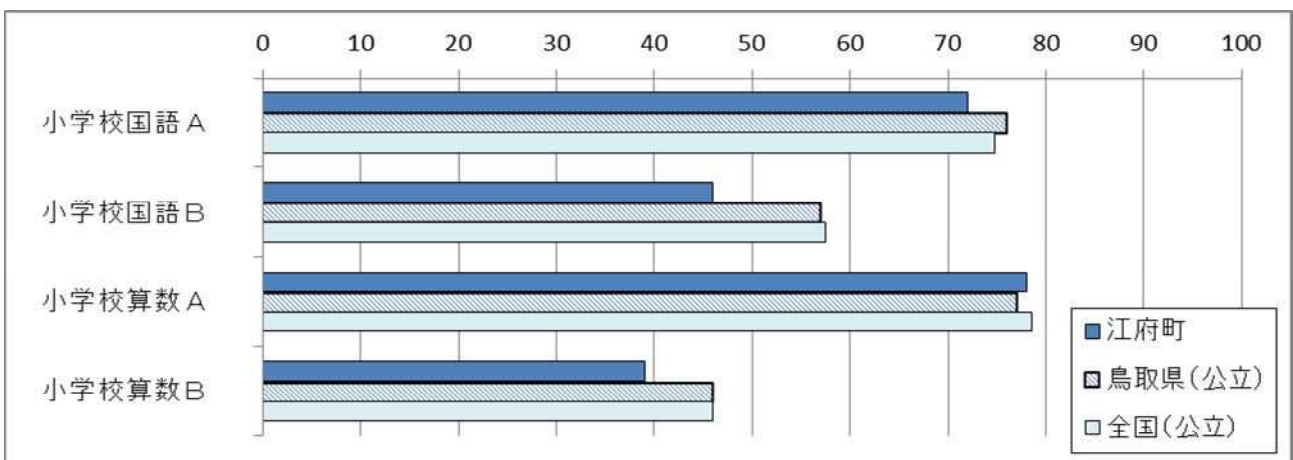
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

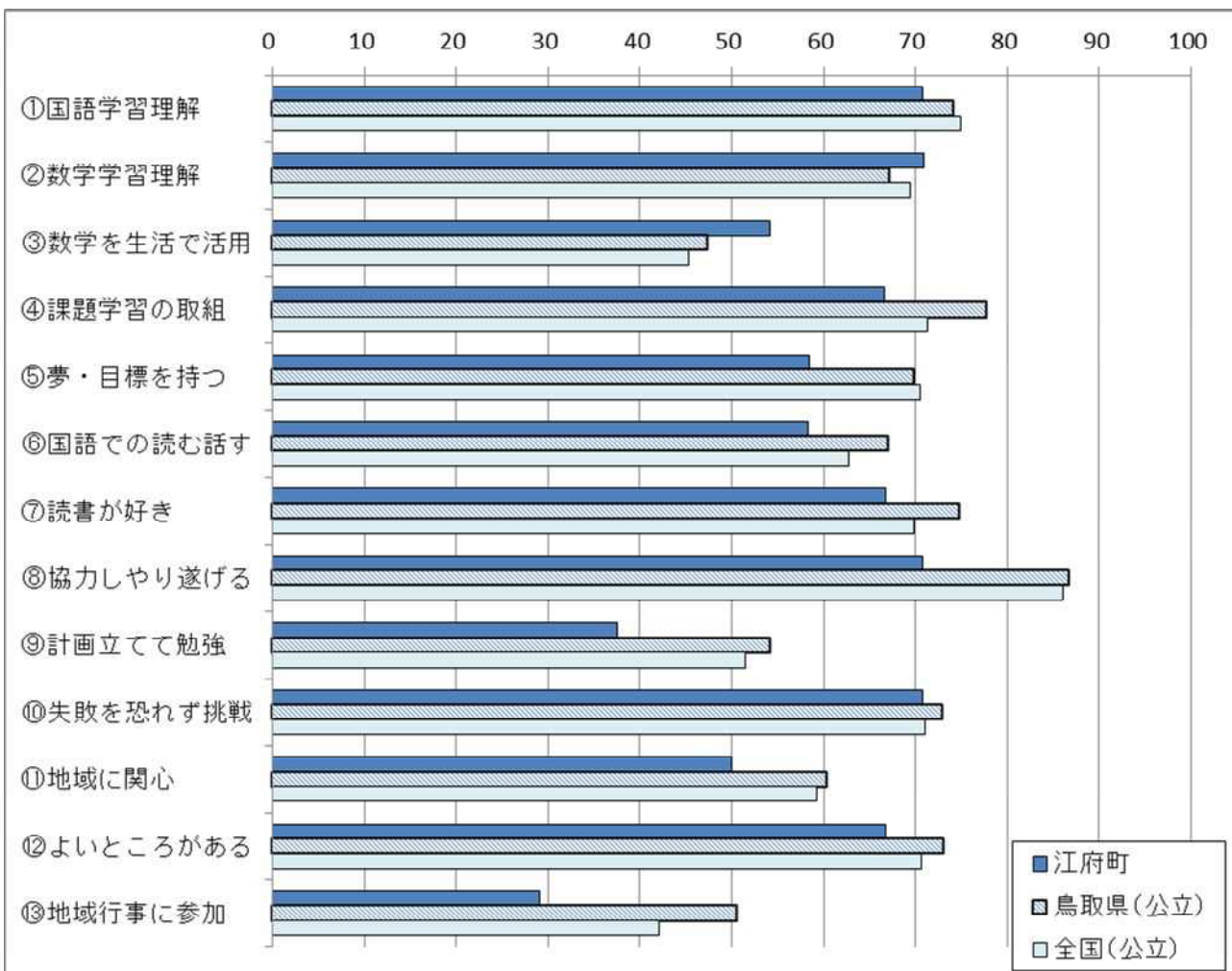


◇質問紙調査における国語の授業に関連する項目は、望ましい回答の割合が全国に比べ高いが、教科調査では国語はA、B問題ともに全国平均正答率を下回っており、児童の質問紙の回答と教科調査の結果に差が見られた。

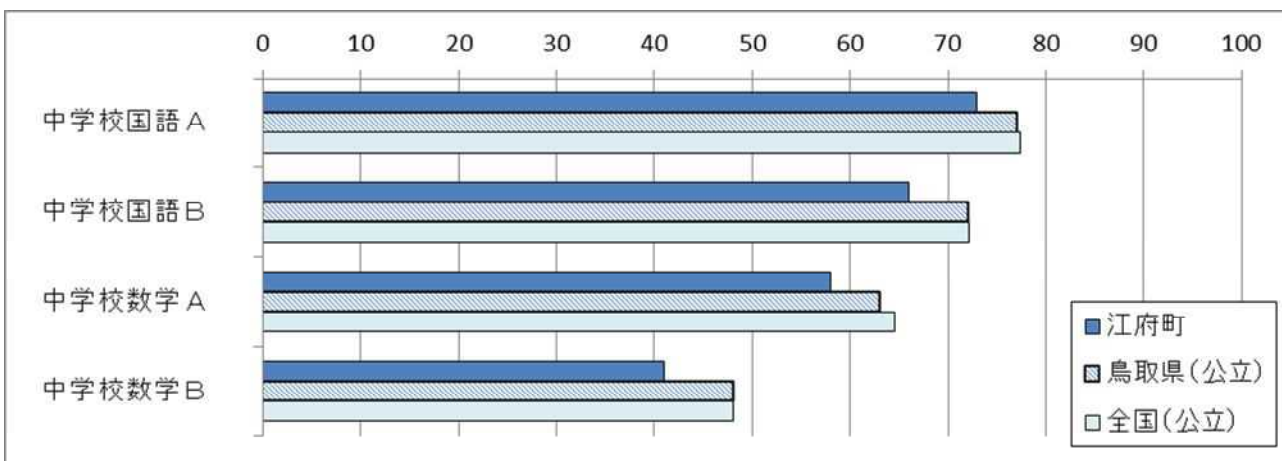
◇算数については、知識・理解の力は概ね定着しているが、「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合が全国に比べやや低く、また算数Bで全国平均正答率を下回っており、活用する力についての課題が見られた。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査



◇学習を生活と関連づけて活かそうとする気持ちは持っているが、「自分たちで課題を立てて、話し合う等の活動に取り組んだ」「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合は低く、主体的に学習に取り組めていない生徒も多いと考えられる。教科に関する調査では、国語、数学のA、B問題すべてで全国平均正答率を下回っており、基礎・基本の定着を図るとともに主体的・対話的な活動を取り入れた授業改善が必要である。